



録画配信はこちら

このままで良いのか、庁舎一本化問題

Q 住民説明会を開いて欲しいとの声を、無視するのか

A 今後も住民説明会は開催しない

問 庁舎の一本化は、現在どう考えておられるのか、拙速ではないか。

答 (町長) 庁舎等公共施設の最適配置については、町の方針をまとめるまでの経緯、経過があることをご理解いただいていると思う。また、住民説明会については、今後も開催しない。

問 拙速過ぎたのではないか、庁舎の一本化

答 (町長) 庁舎の一本化の問題では、残念ながら住民からの要望が強かった住民説明会については、区長総代会のなかでの報告がなく、秦荘庁舎の使い方についても、もっと議論をすべきところを、それすらいままに今日に至っている。町長は住民の声を生かした町政運営を目指すこと述べられている。

問 数多くの議員も庁舎一本化賛成、もしくは庁舎一本化やむなしと考えている。しかし残念ながら町長は、任期中に庁舎を一本化しなければ・となり、主役は町民でなければならぬのに、いつのまにか町長になってい

答 (町長) それぞれの議員の考えに基づいてのことだと考える。

問 なぜ今回の庁舎一本化は、多数の議員の賛成が得られなかったか調査・分析されているか。

答 (町長) 機が熟した暁には、改めて取り組んでいく。総合管理計画、また個別施設計画、その以降にも、検討委員会を立ち上げ答申をいただきその都度、報告している。この半年間も、最適配置推進室を中心に、本計画を進めるに当たって、どのような形にしてい

問 キャッシュレス決済最大3割還元キャンペーンとデジタル改革について

答 (町長) 当町のデジタル改革におけるキャッシュレスキャンペーンの位置づけは、

問 当町のデジタル改革におけるキャッシュレスキャンペーンの位置づけは、

答 (町長) 当町のデジタル改革におけるキャッシュレスキャンペーンの位置づけは、

問 共同通信社の調査によると、この事業はスマートフォンを持っていない人、扱いに慣れない人や高齢者からは、公費を投入するのにより一部住民にしか恩恵を受けず、公平性に欠けるといふ批判もある。事業終了後しっかりと調査・検証をお願いする。

答 (町長) 高齢者を主な対象とした利用方法説明会や利用の呼びかけなどを実施した。また、検証は終了後に行う。

問 キャッシュレスキャンペーンの地元経済活性化効果について。この事業の財源及び投入額、想定される地域経済活性化効果は。

答 (町長) この事業の予算額は、731万4,000円。財源は地方創生臨時交付金を2,700万円充当しており、想定している経済活性化効果は約8,600万円を見込んでいる。

愛知川公民館・町民センター愛知川の解体

Q 愛知川武道館・体育館と一体での再検討を

A 4施設一体での再検討はしない



録画配信はこちら

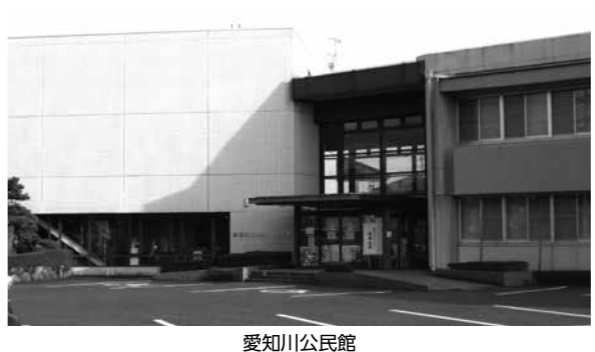
問 両施設については令和5年を目途に解体し、5年から10年程度は公園とする。これはその後検討される愛知川武道館、愛知川体育館と一体としての地域開発を考

答 (町長) 現在、福祉施設の拠点が「秦荘いきいきセンターと愛の郷」に重複している。ともに築20年を超える施設であり倍の費用がかかることになる。愛の郷の利用登録者は現在46名で、一日の利用者は12名であり、送迎を含めた体制を作る。

問 愛の郷の「介護機能」を集約することについて

答 (町長) 愛の郷については、旧愛知川地域の高齢者の利用を目的に建設され、地域になくならない施設になっている。今後愛知川地域の高齢化がますます進むことを考えれば、集約する必要性は低い。

問 蚊野にある旧秦荘中央公民館も数年前に取り壊され公園となっている。利用状況はどうか。



愛知川公民館

答 (町長) 4つの施設を一体で再検討することは考えていない。

問 公共施設の集約は単に合併により同じ施設が重複している。維持コストがかかるという財政的な問題だけでなく、今後の人口推移・高齢化率や町民の生活などを総合的に考えたまちづくりの観点で行うべきである。

答 (教育長) 生涯学習を担当する立場から、検討段階から考えを述べてきた。

問 生涯学習の機能をどのように担保していくのが大切で、今後学校の空き教室を利用することも考えられる。

答 (教育長) 生涯学習の機能をどのように担保していくのが大切で、今後学校の空き教室を利用することも考えられる。



愛の郷

問 今ある施設は、旧秦荘町・旧愛知川町それぞれにおいて人口規模・人口動態・地理的なことなどを総合的に考えて設置されたものである。合併により施設は重複するが、それを利用する住民はそのままであり、住民の生活は変わっていない。そこをしっかりと見ていくことがまちづくりの基本である。

答 (町長) 住民のニーズに合ったまちづくりをしていく。

答 (町長) 行政機能の配置の最適化は、町の持続可能性を確保し、住民の暮らしを守るとともに、活気ある町であり続けるために取り組むものである。